
すずむし

SUZUMUSHI

Vol. 4 No. 4

1954年 4月

倉敷昆虫同好会

倉敷附近の蝶類

(1)

小野 洋・広瀬 義躬

倉敷市近郊は岡山県下に於いても、最も昆虫相の調査が進められている地方の一つである。筆者等は既にこの地方の蝶相に関して、2,3の地方誌に報告して来たが、その後同好会の結成に伴って更に精査された結果、若干の追加種、新知見も得られて、現在大旨一段落ついた形であるので、最近略10年間の記録を一応整理し、その概要をここに報告する。

目録にはべつに採集日附は列示しなかつたが出現期については特に留意した。今後山陽沿岸地方の蝶相調査の一指針ともなれば幸である。

調査を進めるにあたって、種々御教示を賜った九大江崎第三博士、白水隆助教授、在倉中御指導を賜った深谷昌次博士並びに沢山の資料を御提供いただいた平田信夫、斎野孝昭両氏を始め同好会の諸氏に心から深謝の意を表す。

倉敷地方の環境

倉敷市は備前平野の一部、高梁川の造った沖積平野にあつて、水田多く、附近には山地と隔せられる程度のものはほとんど見当たらないが、北にそれぞれ標高150~300mばかりの低山性の丘陵地帯が東西に走っている。それをおろす木本はアカマツ水ほとんど占めていたう状態であるが、2,3のオアシス的存在で僅かに残っている。平野は第四紀新層に属し、丘陵は秩父古生層と花崗岩で構成されている。所謂瀬戸内式の気候を呈し、温暖で風雨少く、晴天が長く、年平均気温15.9℃、降雨量1079.4mmを示している。

蝶類目録

Familia HESPERIIDAE セセリチヨウ科

1. *Erynnis montanus* BREMER ミヤマセセリ

3月下旬~5月上旬、北部丘陵地帯には普通。

VOI.4 NO.4		目 次	
倉敷附近の蝶類 (1)	小野 洋・広瀬 義躬	1	1
おとしがみ			
○道後山でキイロクダキムシを採集	小野 洋	3	3
○アカタテハの睡眠小観察	広瀬 義躬	3	3
○兵庫県宍粟郡の蝶追捕	松井 俊公	4	4
○岡山市内でアサギマダラ目重	松井 俊公	4	4
○アマカエルを喰うオオカマキリ	松井 俊公	4	4
○セミタケの群生	松井 俊公	4	4
編集後記			

2. *Isoteinon lamprosphilus* FELDER et FELDER ホソバセセリ
7月上旬～9月下旬、北部丘陵地帯に産するが、やや少い。
3. *Thymelicus sylvatica* BREMER ヘリタロチャバネセセリ
6月、南部丘陵地帯のタコラ山に少数産す。
4. *Potanthus confucius flava* MURRAY キマタラセセリ。
6月上旬～8月下旬、各地に産するが、個体数は多くない。
5. *Halpe veria* MURRAY コチャバネセセリ。
5月上旬～6月上旬、7月中旬～8月上旬、特に7～8月には北部丘陵に多くない。
6. *Polyremis pellucida* MURRAY オオチャバネセセリ
6月上旬～7月中旬、8月中旬～10月上旬、各地に普通。
7. *Pelopidus mathias oberthiri* EVANS チャバネセセリ
6月中旬～11月中旬、やや少いが各地に見られる。
8. *Pamara guttata* BREMER et GREY イチモンジセセリ
5月下旬～11月中旬、到る処に多い。

Familia PAPILIONIDAE アケハチヨウ科

9. *Menelaides alcinous* KLUFG ジヤコウアゲハ
4月下旬～5月中旬、6月下旬～7月中旬、8月～10月上旬頃普通に見られるが、かなり局部的に産す。
10. *Graphium sarpedon nipponum* FRUHSTORFER アオスシアゲハ
4月下旬～10月中旬、各地に多い。殊に産期、市街中央の鶴形山公園に産す。
11. *Papilio machaon hippocrates* FELDER et FELDER キアゲハ
4月中旬～10月中旬、あまり多くないが、各地の山頂、堤防で得られる。
12. *P. Xuthus* LINNÉ アゲハ
4月上旬～10月下旬、到る処に普通
13. *P. macilentus* JANSON オナガアゲハ
小野は北部丘陵で幼虫を採集(1949)飼育した。極めて稀である。
14. *P. protenor demetrius* GRAMER クロアゲハ
4月下旬～10月上旬、各地に普通、産期鶴形山に多い。
15. *P. helenus nicconicolens* BUTLER モンキアゲハ。
8.9月、非常に稀。
16. *P. bianor dehaanii* FELDER et FELDER カラスアゲハ
5月上旬～9月上旬、各地に見られるが、個体数は比較的少い。

Familia PIERIDAE シロチヨウ科

17. *Eurema hecabe mandarina* DE L'ORZA キチヨウ

3月上旬～11月下旬、各地に産。

18. *E. laeta bethesba* JANSON ツマクロキチヨウ

4月上旬～下旬、6月～8月、9月下旬～11月上旬、丘陵地帯に見られるが、多くない

19. *Colias hyale poliographus* MOTSCHULSKY モンキチヨウ

3月下旬～11月中旬、各地に普通。

20. *Anthocaris scolymus* BUTLER ツマキチヨウ

4月上旬～5月上旬、丘陵沿の畑で普通に見かける。

21. *Pieris rapae crucivora* BOLSDUVAL モンシロキチヨウ

2月下旬～11月下旬、各地に産。

22. *P. melete* MÉNÉTRIÈS スジタロシロキチヨウ

3月下旬～11月上旬、丘陵沿地帯に普通に出現する。

おとしぶみ

道後山でキイロク チキムシを採集

本種 *Cteniopterus hypocrita* MARSEUL は現在地に四国、九州にその分布が知られているが、1951年7月21日、広島県の道後山に採集を試みた際、本種と思われるものを1個体捕獲しているので、一応報告しておく。(小野 洋)

アカタテハの睡眠 小観察

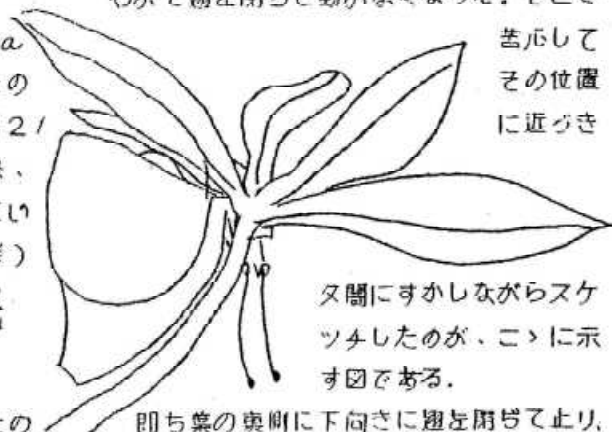
1953年7月25日、倉敷市田之上の自宅庭内でカトリヤンマの飛翔を観察していた時、庭のケウチクトウにどこからともなく1頭の本種が飛来、しきりにその小枝や葉に止ろうとする動作を見せているのに気が付いた。

時刻は午後7時と分過ぎ、あたりはもう暗い。おねぐらを求めているのだとわ

かつたので、しばらくその状況を観察する事とした。

この個体は分位バタバタしていたが、やがて地上2.5m位のケウチクトウの小枝に止つた。時計を見たら7時12分である。しばらく翅を閉じたり開いたりしていたがやがて翅を閉じて動かなくなつた。そこで

苦んでその位置に近づき



夕闇にすかしながらスケッチしたのが、こゝに示す図である。

即ち葉の裏側に下向きに翅を閉じて止り、触角は前方にゆるく弯曲して垂れている。これは睡眠に入る頃の状態であるから、その後の状態は夏分越冬休眠時の如く触角は翅の中へ収められてしまうのではないかと思う。残念乍らスケッチ後誤つて逃がしてしまつたので、翌朝早く観察する事など出来なかつた。個体は後翅が中破しており、

発生後相当日を経たぬと思われた。

本例に於ては就寝時刻は7時過ぎであるが、これは本種を含むタテハナユウ類の日週活動が夕方近くなると異常に遠慮心となり、日没迄その活動が続けられる事実を示しているのではあるまいか。因に自宅庭内でははしは観察したところでは、ナミアケハ等は既に5時過ぎには睡眠行動に入る。

(広瀬 義躬)

兵庫縣宍粟郡の蝶 追補

9. 昭和15年頃にすでに採集済み(奥谷村にて)

75. *Rajola arata* BREMER
トラフシジミ

1953年7月13日採取す。繁殖するらしい。

76. *Tongeia fischeri* EVERSMANN
クロツバメシジミ

近畿地方に於ては初採集である。1953年7月30日2頭採取す(於郡内山崎町)

77. *Thymelicus sylvaticus*
BREMER ヘリアロキヤバネセセリ

78. *Pelepidias mathias oberthiri* EVANS キヤバネセセリ

昨年は7月10日～17日にかけて、郡北の採取を試みたが、他は採集出来なかつた。
(松井 俊公)

岡山市内でアサギ マダラ目撃

1953年9月10日、快晴、朝9時頃津島総合大学通りで林からヒヨドリバナに飛来、採集しそこねたが、活動は比較的緩やかなのであつた。
(松井 俊公)

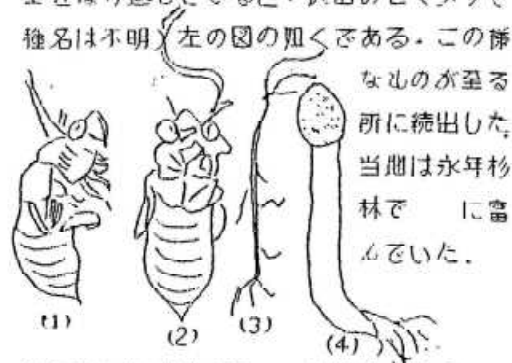
アマガエルを食う オノカマキリ

1953年11月3日午後福州を始めてみると、生きているアマガエルの右後足をむりむり食っていた。始めは抵抗していたカエルも少しすると殆んど動かぬのでするまゝになっていたが、少しでむさわると足をじたはたさせていた。(写を忘れたが)採集と飼育に因入りで記載されていた。

(於兵庫縣宍粟郡安師村塩野)(松井俊公)

セミタケの群生

昨年1953年4月上旬 植林のために土をほり返していると、沢山のセミタケ(種名は不明)左の図の如くである。この類なものに至る所に抽出した当樹は永年杉林で豊富に富んでいた。



(於宍粟郡安師村塩野) (松井 俊公)

~~編集後記~~ 花咲く4月となりました。同好会の皆様にも野に山にと御活躍の事と思ひます。さて4月号は編者達の波寄す忙故とは云え、又々遅れてしまひまして申訳ありません。ようやく今巻にお目見えいたしました。今月から、地元倉敷の蝶類が連載されます。おどしおどし編と相友らずにさむつております。どうか御活躍の成果をどしどしお寄せ下さい。では又、

すずむし 第4巻 第4号 昭和29年 4月 印刷
昭和29年 4月 30日発行

編集兼 倉敷市住吉町 岡山大学農業生物研究所
発行 者 害虫学研究室内

倉敷昆虫同好會